



「被爆 70 年、核兵器廃絶 2015 年平和行進」にご参加の皆様から敬意を表します。

広島・長崎に原子爆弾が投下されてから 70 年が経過する今日も依然として、世界各地では紛争が絶えず、人々は未だに核兵器の危機にさらされています。

現在、ニューヨークで核兵器不拡散条約（NPT）再検討会議が開催されています。本市も加盟する平和首長会議を代表し、広島市長と長崎市長が出席し、国連、各国政府関係者等に 2020 年までの核兵器廃絶の実現に向けた前進を強く訴えました。

平成 16 年 4 月に「逗子市非核平和都市宣言」を行った本市においても、平成 8 年から若い世代が戦争の悲惨さや核兵器の恐ろしさを学び語り継いで行くことを目的に継続している「逗子市ピースメッセンジャー派遣事業」では、今年度も中学 2 年生 20 名を長崎市へ派遣します。また、市民の活発な非核平和推進活動促進のため、平成 17 年から逗子市被爆者の会との共催で「原爆と人間展」を、平成 23 年からは市民団体が中心となって企画・運営する「ずし平和デー」を共催するなど、核兵器廃絶と世界の恒久平和を願う自治体として、様々な取り組み、活動を行っています。

今後も、平和な社会の実現について考えていただける機会を設けるとともに、地域の皆様が安心して暮らせるまちづくりに取り組んでまいります。

結びに、この「被爆 70 年、核兵器廃絶 2015 年平和行進」のご無事と皆様のますますのご健勝、ご活躍をお祈り申し上げます。

2015 年（平成 27 年）5 月 15 日

逗子市長 平井 竜一

逗子市

青い海と みどり豊かな 平和都市